

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育振興費

事業名 **新** 可茂特別支援学校増築校舎教室備品等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 特別支援教育課 環境整備係 電話番号：058-272-1111 (内 3554)

E-mail:c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 54,720 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	54,720	0	0	0	0	0	0	0	54,720
決定額	54,720	0	0	0	0	0	0	0	54,720

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・可茂特別支援学校では、児童生徒数の増加に伴う狭隘化解消のため、増築棟の建設を進めている。(令和4年12月竣工見込み)
- ・増築棟では、小、中学部、高等部の普通教室、高等特別支援学校機能の導入に必要な教室の他、職員室・会議室等の管理諸室の整備を行うため、学校運営に必要な物品の整備を行う。

(2) 事業内容

- ・物品の種類については、高等特別支援学校として平成30年4月に開校した西濃高等特別支援学校をベースとし、必要数については、物品の種類ごとに児童生徒数、クラス数および教職員数等をもとに積み上げ、増築棟の供用開始に必要な物品の整備を行う。

(3) 県負担の考え方

- ・県立学校のため県 10/10

(4) 類似事業の有無

- ・無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費(消耗品費)	13,296	事務用品 等
備品購入費	40,703	木工機械、介護備品、ビルクリーニング備品 等
役務費	721	本校舎から増築棟への物品運搬経費
合 計	54,720	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「新子どもかがやきプラン」

政策①高等特別支援学校（総合産業科）の機能を整備します。

(2) 国・他県の状況

- ・各県で高等特別支援学校は設置されている。

(3) 後年度の財政負担

- ・校舎増築に伴う備品整備はR 4単年度事業
- ・備品の使用、管理に伴う経費は特別支援学校管理費で対応

(4) 事業主体及びその妥当性

県立特別支援学校の物品整備であり、県で対応。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 令和5年4月の増築棟供用開始に向けて、必要な物品を計画的に整備し、教育環境の充実を図る

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						%

○指標を設定することができない場合の理由

供用開始時に必要な備品等は漏れなく整備する必要があり、定量的な指標設定ができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・増築棟の建設に係る実施設計が完了した。
令和3年度	・増築地造成工事が完了し、増築棟建設工事に着手した。 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	<hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	依然狭隘化が解消されていないため、増築棟に整備する教室等の規模に見合った物品を整備し、教育環境の充実を図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	今回建設する増築棟により普通教室の不足が解消される。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	本校舎に整備済みの物品は整備対象から除外するなど、真に必要な物品の精査を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 これまで開校した学校の備品の整備状況等を再点検し、より効率的で経済的な調達を行っていく。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 増築棟の建設に伴う物品調達のため、次年度の取組予定は無い。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	